

映像 12 本 DVD 付き副教材

『私と世界 6つのテーマと12の視点』

実践事例

授業副教材

総合学習

授業/長期休みの宿題・課題



エッセイコンテスト

ディスカッション

AO/推薦受験対策

一新学習指導要領適応（全教科）

グローバル教育

言語活動の充実

課題追求・探究的な学習

国際教育

道徳

ESD 教育（持続可能な社会）

小論文・AO入試対策

1 章 グローバル化

資料映像《オカパ・コネクション》17分 使用

ねらい ①身近なモノから「自身と世界のつながり」に気づく
②世界とのつながり（グローバル化）を有効に利用する手段としての「フェアトレード」について理解する。

その際、特に「援助」との違いについて考えさせる。

キーワード：フェアトレード、物的支援、資金援助、人材育成支援、技術支援

授業形態：視聴（《オカパ・コネクション》17分）、個人・グルー

プワーク、講義、発表

時間：50分



導入 8分

Q あなたが日本に居ながらも世界とつながっていることを実感・体験した例を挙げてください。

→グループか個人で考えさせる → 発表

展開

回答を共有して、身近なものでも視点を変えると世界とのつながりが見えることを気づかせる。

視聴 17分

→日本と比較し、①職業選択、労働の格差と、②地域と世界のつながりを気づかせる。5分

Q フェアトレードは、地域の人々にどのように貢献していますか？ 10分

→グループで話し合い →発表

→a.栽培者たち（地域）の団結力を生む

b.収益から地域の開発が可能

まとめ 10分

Q資金や物資による支援とフェアトレードの違いは？

→「可哀そうな人のために援助してあげる」態度と「現地の人々自らの手で改善する」ことに違いがあることを理解させる。

発展（課題探究的な学習、レポート作成など）

→フェアトレードの背景や実例・南北問題などの調べ学習へ

ワークシート I-8

フェアトレードについて考えよう

資料映像①《オカパ・コネクション》17分

Q 1. あなた自身が日本に居ながらも世界とつながっていることを実感・体験した例を挙げてください。

Q 2. この地域の人々が就く主な職業は？

Q 3. フェアトレードは、地域の人々にとってどのように貢献していますか。2つ挙げてください。

「教育や衛生など、すべての問題が道路の建設により改善される。フェアトレードに着眼したのも一番の理由はここにある。村人が自らの手で環境を改善できるのではと思った。」(9:25) この部分を伝えたい。日本人として「可哀そうな人々のために援助してあげる」態度と「**現地の人々が自らの手で改善する**」ことに貢献するフェアトレードの違いを理解させる。物資による援助は一過性のものである。また募金などによる援助も直接それを必要としている人々に届かない事例があること等から、これまで一般的に行われていた「一方通行的な援助」のあり方を再考する。

Q 4. 募金や物資による支援と、フェアトレードの違いは何だと思えますか。

2章 コミュニティ

資料映像《アリーナのイチゴ農園》15分 使用

- ねらい ①コミュニティの持つ2つの意味（地域性、共同性）を理解する。
 ②自分は様々なコミュに所属しており、それぞれのコミュニティの構成員であることに気づく。
 ③コミュニティは常に存在し個人の居場所になること、
 また、それが個人のアイデンティティにも関わることに気づく。

キーワード：コミュニティ、地域、共同性、つながり、ひろがり

授業形態：視聴（《アリーナのイチゴ農園》15分）、個人・グループワーク、講義、発表

時間：50分



導入 10分

Q「コミュニティ」のイメージは？
 →グループで話し合う。 → 発表

展開 10分

コミュニティの2つの意味板書。（右図参照）

視聴 15分

Q自主的に作り上げられた共同体の身近な例は？ 5分
 →グループで話し合う。 → 発表

まとめ 10分

Q自分と関わりのあるコミュニティを書き出す。（右図参照）

→「ひろがり」「繋がり」の可視化。

→「みんなは、書き入れたコミュニティを繋がっていて、さらには、それらのコミュを構成しているメンバー（構成員）なのです。共に生きているんだよ。そこが君たちの居場所にもなっている。場所でも、流動的でも、コミュニティは常に自分の周りに存在する。（東北は地震と事故でコミュニティが崩壊、分散されていることにも言及）」

→コミュニティの大切さを伝える。

コミュニティって大切な？

Q1)「コミュニティ」と聞いてどのようなものをイメージしますか？ 自由に書いてください。

「コミュニティ」は「共同・同族」が由来で、話し合いをする場所、
 考えが通じあうところ、同じ地帯に住む人。

Q2)「コミュニティ」の2つの意味とは？

地域性...同じ地帯に住む人、同じ地帯に住むもの。
 共同性...共通の価値観や考えがあり、協力しあうもの。

Q3) 実は、映像の「コミュニティ」と似たことは身近にもあります。どんなことでしょう。
 ヒント：地域にとらわれず、自主的につくりあげられた共同体です。よね。

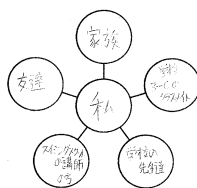
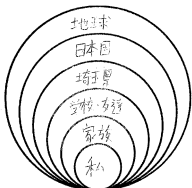
1. 地域の会（集まり）など（同じ地帯に住む人、同じ地帯に住むもの）
2. 家族、学校、友達（同じ価値観や考えがあり、協力しあうもの）

Work!

Q4) あなた自身を中心に、あなたとつながっているコミュニティを書き入れてください。

1. 身近な人と書く
 2. 身近な人とつながる
 3. そのほか、あなたを取り巻くコミュニティを書き入れていく。

1. 中心に自分を書く
 2. あなたと関係が深いと思うコミュニティを周りに書き入れる。



3. 《アリーナのイチゴ農園》の感想を書いてください。

映像が不登校大学生が多数集まるイチゴ農園の様子を映している。目的は何もない。この場所
 はみんな同じ事をする。このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。
 このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。
 このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。このコミュニティで。

4. 2. 2 回目「コミュニティって大切な？」から感じたことや考えたことを書いてください。

私がコミュニティって意味するのは、家族や地元、インターネットのコミュニティサイトだけでなく、このコミュニティが
 なければ成り立たない。自分の考えや好きなものについて考えたりすることもなく、みんな
 いざという時に助かる。そう考えるとコミュニティが自分とつながっているのはいいかと思う。

「コミュニティ」というのは、何となく目的もなく仲間が集まるものだと思う。部活やクラス、
 学校など、身近なものだ。人は人と関わり合い、支えあって生きていく。このことを実感でき
 た。世界もみんな同じコミュニティ（村）で、世界はコミュニティで成り立っているんだというように
 気が付いた。

・「コミュニティ＝自分の居場所」ということを聞いて「確かに!!」と感じました。
 コミュニティには様々なものがありますが、色々な所で様々なコミュニティに所属すること
 によって自分の居場所ができて、迷わず居場所がある。それはとても大切なことだと思います。

自分の周りのコミュニティを書き出すと、以外ときりがなくて、今までたくさんの人と関
 ってきたんだと感じた。これからどんどん増えていくのがいいと思った。自分の居場所がたいてい
 あると感じて、みんなが喜ぶのがいい。

資料映像《夢見たお豆》10分 使用

③これまでの自分を振り返らせ、「関係性」を意識する。

授業形態：視聴（《夢見たお豆》10分）、個人・グループワーク、講義、発表

時間：50 分

Q名前以外で自分を示すもの3つは？

展開 5 分

視聽 10 分

→個人・グループワーク → 発表

Q 社会にはどのような「私たちに影響を与える事物」がある？

→個人・グループワーク → 発表

Q自分自身に影響を与えた場所、人などを書きだそう。

→自分自身の体験に落とし込む作業。これまで関わってきた人物や場所を振り替えさせる。(つながり・関係性の意識化)

→「実感してほしい。あなたたちは様々な事物に関わってきた。」

→「もし、これらの関係性が限られていたら？」(友人、学校選択、部活選択、職業選択、遊びの種類、情報の種類など)(恵まれた環境にいることを理解してほしい。)

→「みんなはこれから様々な経験をしていく。良い将来が待っているよ。たとえ辛いことがあっても、それも自分をつくる一つの要素。」「たくさん「呼びかけシャワー」を浴びてくださいね。」



自分を説明するのには項目をあげたとき、それは誰が「聞いていよとが考えたとき」に、絶対に自分「いじ」無理で、周りの人が「いてこの自分だ」と感じました。

4章 差別

資料映像《ヒジャブ》8分 使用

ねらい ①文化の多様性について考える。
②他文化についての調べ学習をする。
③区別・差別について考えることから、他者を理解
するとはその人の背景を知ることが必要であるこ
とに気づく。

キーワード：文化の多様性、イスラム、他者理解

授業形態：視聴（《ヒジャブ》8分）、個人・グループワーク、講義、
調べ学習、発表

時間：50分

導入 5分

Qあなたのこだわりは何？

→個人で考えさせる。 → 発表

Qもし、そのこだわっているものが否定、拒絶されたら？

視聴 8分

展開 25分

Q映像を見て感じたこと考えたことを話し合う。

→グループワーク → 発表

ディスカッション

Qヒジャブと帽子的の違いは？

Qヒジャブは禁止だけど帽子は許されるのはあり？

Qもしあなたがあの主人公だったら？

→グループもしくは個人で考え、意見交換。

まとめ 10分

→あの少女がヒジャブを着ける背景の説明から、背景を知らずに判断するのではなく、他者を理解しようとする際
は、文化・社会的背景を調べることが大切であることを伝える。

課題 新聞記事の紹介（「私と世界」HP参照）

イスラム教、ヒジャブまたは、他文化について調べレポート。



○ ヒジャブをみた感想を書いてください。

「郷に入って郷に従え」という言葉があります。宗教に関しては、その言葉はあてはまるのか
考えさせられました。しかし、VTRを見ると、ただの差別。それもあれ程まじわたりやすい。
信じるものは人それぞれであり、自由であると思います。先程も上げましたが、宗教は、
「郷に入って郷に従え」。従う必要はないし、そのものからくる文脈もただする必要は
ないと思います。また、このVTRを見て、何故自分の知っているものが認められないのか、
やはり自分が築いてきたものを壊さねばならないのかもしれないでしょう。
実際私も怖いのです。しかしそれを認め合わなければ、自分の世界はとて狭いものに
なってしまうし、自分のことを認めてもらうことができない。
だからこそ相手を認め合うことが大切だと改めて考えさせられ、自分の行いを直そう
きっかけにもなりました。

○ ヒジャブをみた感想を書いてください。

メモ>

宗教や思想の自由を守るために、
イスラムの教えにあるヒジャブをどうに
先生に言われるの
無宗教の学校
ワスメイは黒い黒いの髪型をしていた。

私がいつも使う都立の駅には白い服を身に着けてアラブ系の男の人や、
お母さんは黒いスカーフのようなものを頭にかけ、その子供も黄色い幼稚園やベビ
肩からかけお母さんと同じスカーフを頭にしている方がよくいます。最初は
少し驚きましたが、今では普通な光景と同様に受け入れられています。
VTRの先生は、宗教や思想の自由を守るため、彼女にヒジャブをどうするよう
に言いましたが、それは逆の方向は気がします。国籍が異なれば、思想や
宗教も異なるのは当然で、それを否定された彼女はとても嫌な思いを
したと思います。
服装や髪形が自由であれば、それと同じように宗教だって自由が
認められて良いのではいいかと思いました。

6章 戦争と平和

資料映像《トレランス》6分 使用

- ねらい ①自然、他者と共生することの大切さに気づく。
②「エゴ」が及ぼす影響について考える。
③自分と異なった者とうまくやっていく方法を考える。

キーワード：共生、エゴ、寛容、他者理解

授業形態：視聴（《トレランス》6分）、個人・グループワーク、
講義、発表

時間：50分

導入 5分

Qエゴということばを知っていますか？

→辞書等で調べる。 → 発表

展開 4分

→「私たちは自然や他者と共に生きているはず。「共生」と「エゴ」をキーワードに映画を観てください。」

視聴 6分

→グループもしくは個人で感想を話し合う、書く。→発表

ディスカッション 25分

Qエゴを持っていない人はいる？

Qエゴを持ちながらも互いに共生することは可能？

Q映画の2者を身近なものに置き換えたら？

→グループもしくは個人で考え、意見交換。

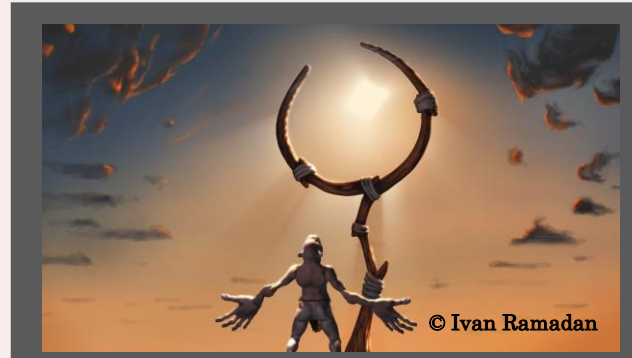
まとめ 10分

→エゴを前面に出すと、結局は互いに壊れる。

→人間界と自然界をエゴ・共生の視点から見る。考える。

→身近な人間関係をエゴ・共生の視点から見る。考える。

→共に生きるすることの大切さを伝える。



～授業中のやりとりから～

生徒A：文明を築き上げてきたのに、もう一方の文明の方が「こちらの方が優れている」と思い込んだことから戦争になり、お互いを倒しあう結果となってしまった。この先戦争のない世の中にするには、お互いの良いところを認め合う必要があると思った。

教師「今起きている戦争に関しても「認め合わなきゃだめだ」と言えばそれで戦争はおさまるのかな。」

生徒A：そういうわけにもいかない。

教師「他の生徒の意見も聞きながら一緒にいろいろと考えよう。」

生徒B：文明を発達させた人類が宗教等で争いあい、最後はお互いに傷つけ合うことを表現したのだと思った。宗教の違いによる戦争で傷つけあうのは悲しいと思った。

教師「どこから宗教を感じたのかな？」

生徒B：拝んでいたところから。

教師「悲しいのはなぜ？」

生徒B：作るのは大変だけど、壊すのは簡単。直すのには時間を要する。また戦えばまた壊れる。

生徒C：相手と競い合うが、最後には何も残らず、自分も滅ぼしてしまうことを伝えたのだと思う。

教師「競争がよくないってどういうこと？」

生徒C：競争すべてが悪いわけではないが、戦争は良くない。

生徒D：今も昔も民族や宗教や文明の違いから争いになるということと、だからこそ認め合って平和にしていこうという作者の意図があると感じた。

教師「宗教や文明が違うっていうことはつまり、何が違うんだろう？」

生徒D：考え方や価値。

～生徒のレポートより～

◆この映像は短いものの、戦争の本質を捉えた内容の濃いものだったと思った。戦争をなくすためには、まず1人1人が「自分の文化は絶対的なものだ」という観念から脱却し、異文化を理解し、尊重することが重要だと思う。「トレランス」は「忍耐・寛容」といった意味があるが、他者の寛容な理解が必要なのだろう。

私が一番印象に残ったのは、
「エゴ」は（自分すべてをこらす）ということです。
「エゴ」は誰にもあると思う。そのせいで
どう自分でコントロールできるか？
大切な人（愛人）かと思いましたが、
相手の気持ち考える。みんなそうできなくていい
ことなんてとかんじました。
これから、相手の気持ちを少しでも察してあげようかな、
そんな人になりたいです。

人は互いに争っているということを改めて感じました。
学校や社会に行っても人は互いに争っていると思います。
自分勝手が相手も、相手も自分も、最終的には半端な結果になっていきます。
「エゴ」という言葉の背景に「エゴ」は自分のことを言っている。
ということを知りました。
自分1人が勝つだけじゃなくって、自分勝手じゃなくって、相手の気持ちも
考えていこうと大切に思っています。

英語科で行う「感じ、考え、表現する授業」

「無声アニメのセリフ付け」全 3 回 ; 20 分 × 2、50 分 × 1 (発表時)

対象作品

テーマ

《命の度合い》7 分 … 環境、他者理解、つながり

《トレランス》6 分 … 共生、エゴ、他者理解、寛容

導入 (1 回目)

セリフが一切無い映像を観て、自分なりのメッセージを英語で表現してみよう。

視聴

全体で映像を視聴する。

グループ分け

6 名前後のグループを作る。

担当の分担

①映像をグループ人数で割り振り、各自それぞれの箇所にセリフを入れることにする。

例) 6 分の映像を 6 名で 1 分ずつ担当。

課題

自宅で映像を視聴し、担当箇所のセリフを考える。

→教室の画面の大きさに合うサイズの紙に、タイプまたは手書きでセリフを書く。

(発表時は、一時停止をしてセリフを書いた紙を見せる)

グループワーク (2 回目)

各自が持ち寄った台詞を通して発表の準備をする。セリフの修正等も行う。

発表 (3 回目)

グループごとに画面の横に立ち、それぞれが用意したセリフを映像に合わせて発表する。

他グループの発表を見て、印象に残ったセリフをワークシートに書いておく。

例) 《トレランス》6分使用

1 班

2 班

3 班

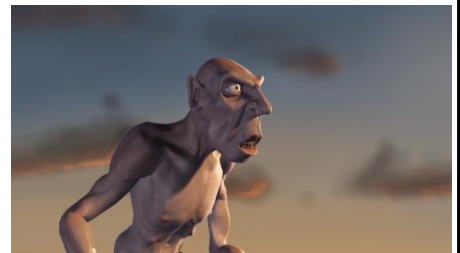


Oh, what do you think you are doing to me !!?? I am the strongest.

Get out!



Oh, no! Please don't do that!
We could be friends.....
Why don't we get together and built another one?



????
I.....
Screw.....
YOU!!BUSTER!!!!!!

授業/夏休み等の宿題・課題

Point!

各生徒が映像と本文を持っているので、自宅でも取り組みます。

実践例1. 12本ある映像(6分～26分)の中から、課題を出して感想文を提出させている。

実践例2. 映像を指定して、「問い」を一つ投げかけ、それに対する回答を提出させる。次の授業で生徒の回答を共有してそこからディスカッションに発展させている。

実践例3. 映像は教室で視聴するので、本文精読を宿題にしている。その後、もう一度各自で映像視聴させることで、また違った視点を得させることができる。

実践例4. 夏休みの宿題を2種類用意して生徒に選択させる。その一つとして、ある章の本文と映像から考えたことのレポート提出にしている。

エッセイコンテスト

Point!

苦労するテーマ決めや導入部分に、映像がきっかけを与えてくれます。

活用例1. 学内など、同一テーマによるエッセイの題材として活用。

提出後は、同じ映像を観た複数生徒の感じ方、意見を共有することで、生徒の視野が広がる。

活用例2. 映像や本文に対する意見・感想文をエッセイに発展させる。

生徒自らの体験と、深く考えさせられる抽象的な映像/世界の現実映像を結びつけることで、視点が広がり、エッセイの内容がより深まる。

活用例3. エッセイのネタ、色づけとして活用。

12本の映像を視聴するだけでも12個の新しい知識や視点を養えることから、内容が深まる。

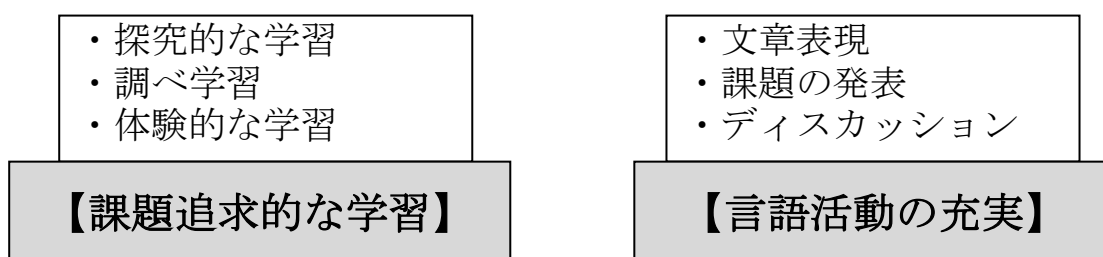
活用例4. 「私と世界」エッセイコンテストへの参加。

今後開催予定の「私と世界」エッセイコンテストに参加して、同一テーマで全国の高校生が感じたことを共有。

その他の使用例

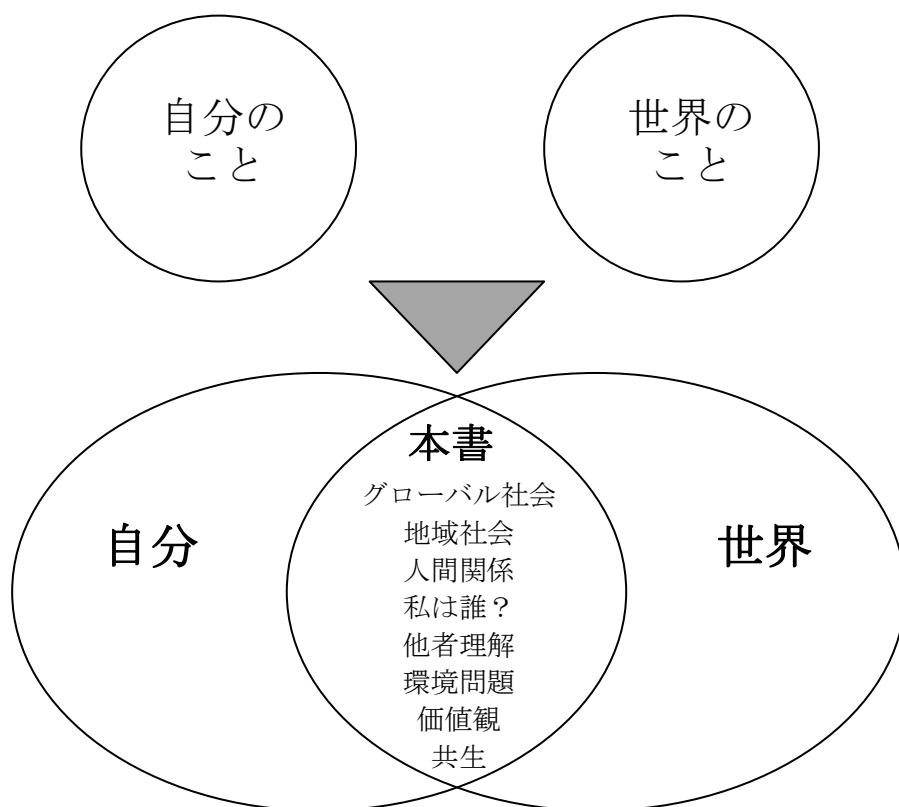


問題・課題意識を持たせる



- ・各生徒が本文と映像を所持するため、課題にも最適
- ・本文中の設問とワークシート、及びウェブ上でのワークシートや資料を活用することで、授業準備の時間を削減
- ・教師用ウェブ・サイト上で、他校の使用例を参考
- ・教師用ウェブ・サイト上で、ワークシートのひな型をダウンロードし編集して使用

本書を使用している生徒たちは、世界を自分のこととして感じ、考えています



生徒の声

- 今までと違った感じの授業で、とても新鮮だった。自分自身や自分を取りまく環境について深く考え、感じる事ができて、予想外の発見をすることもできて、自分にとって有効的だった。
- いつも近くにあって当たり前のようなもののことを考えなおすのは結構大変だなと思いました。
- 今まで考えたこともないことを考えることができた。もっと自分の身のまわりに意識を向けていきたいと思いました。
- 一本の映像を観て、共存していくうえで一番大切なことは、自分のことばかり考えず、相手の事情も良く考え、最終的に両方の得になるようにすることだと思った。
- 言いがかりから暴力に発展していくことや、やられたらやり返すこと等、今の時代の私たちの行動を分かりやすく表現したのだと思った。《トレランス》6分を観て
- 5分間の《トレランス》を観た時、「エゴ」が双方を壊すことがとてもみじめだと思いました。
- 《トレランス》には、エゴに生きることによって何が起こるかを思い知らされた。
- 母鳥が子供を守ろうとする気持ちは分かりますが、どうしてもそのためには多くの犠牲をいとわない「エゴイズム」が見えてきてしまいます。言い換えれば、これは私達、自然に対する「人間」の姿を「鳥」に置き換えたものであり、私たちは今一度他の生物との関係性を見直すべきというメッセージを受け取りました。《命の度合い》7分を観て
- 短い作品でしたが、全体を通して意味がわかったような気がします。この話はスペインが舞台ですが、これからの国際化の波で日本にもこのような事態が起こることが十分にあると思います。《ヒジャブ》8分を観て
- この作品は「ヒジャブ」を通して、差別をなくそうとする行動によって起こる逆差別を表現していると思った。《ヒジャブ》8分を観て

～映像とテキストから読み解く「私」そして「自身と世界の関係」～

全ては自分とつながっている。

自己理解は他者理解。自己発見は他者発見。

- 編者：綾部真雄（首都大学東京）
- サイズ種別：A5 判/2 色
- ページ数：112
- DVD1 枚（12 作品 164min.）
- 価格：生徒/学生副教材使用 1,000 円（本体）
校内上映/貸出権付き 10,000 円（本体）
- 2011 年 2 月 25 日 初版第 1 刷発行
2015 年 4 月 23 日 第 5 刷発行
- 構成
 - 第 1 章 グローバル化
 - 第 2 章 コミュニティ
 - 第 3 章 アイデンティティ
 - 第 4 章 差別
 - 第 5 章 人と自然
 - 第 6 章 戦争と平和



あなた自身、及びあなたと世界の関わりを、6つのテーマと12本のショートフィルム（視点）を通して考えるテキスト。文化人類学、社会学、心理学、国際関係論、環境学、哲学など様々な分野のエッセンスが、初学者向けの工夫を施されたうえで散りばめられている自分理解、世界理解の入門書。（※平成23年度より国公私立高校/大学で使用され始め、高い評価を得ています。）

■本書が重視するもの

① 自己との対話を深める（☆進路・キャリア教育☆ 存在意義から将来像へ）

本文、設問、ワークシートは、すべて「自分自身」と各章のテーマの関係を意識させる構成になっています。

② 自己と世界のつながりに気づく（☆グローバル教育☆ グローバルな視野）

本文、設問、ワークシートは、すべて「自分自身」と「世界」のつながりを意識させる構成になっています。

③ 読解力・思考力・判断力・想像力・表現力等を育む

（☆表現力教育☆ プレゼンテーションや小論文）

各章には、「テーマへの導入」「課題研究」に適したショートフィルムが2本ずつ添付されています。

（本文はショートフィルムの解説ではありません）